

# 花巻市の人口動態の概況

# 人口ビジョンの将来人口目標と実績

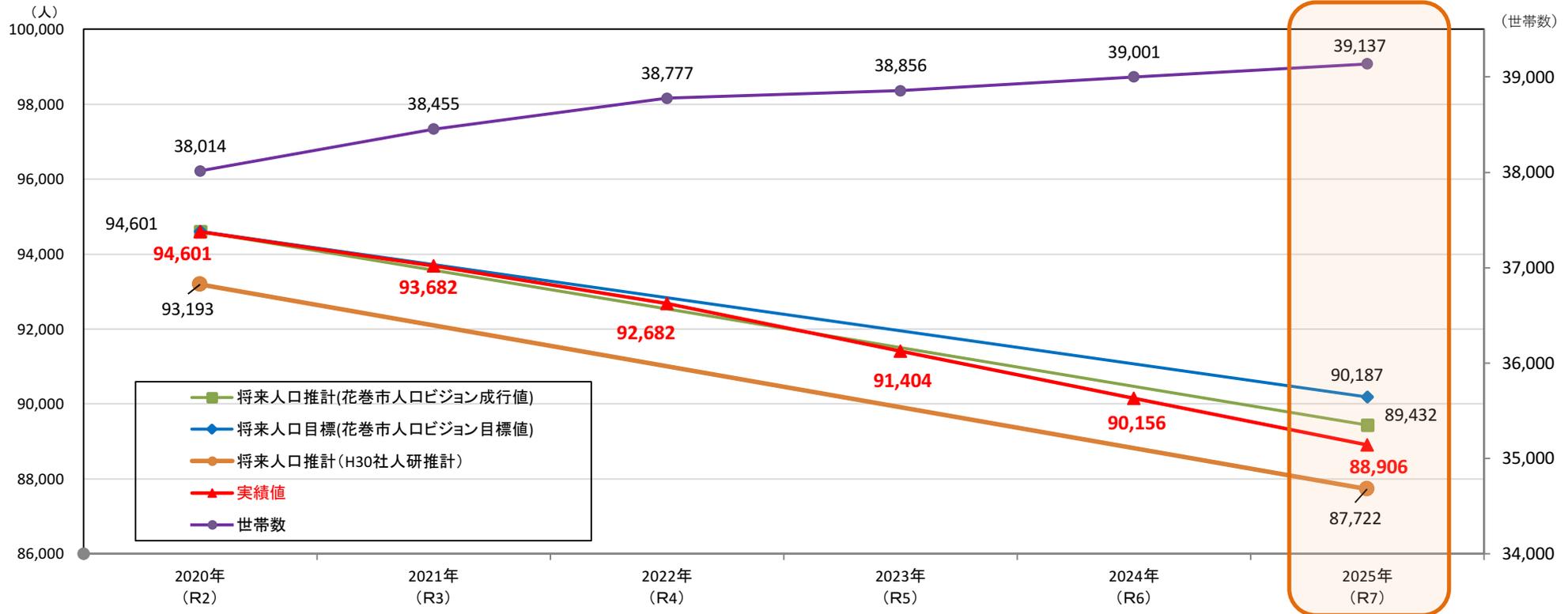
花巻市人口ビジョン（R5年12月改訂）において、人口減少対策を推進することで、将来人口推計（成行値）で想定される減少スピードを緩やかにすることを旨とし、将来人口目標を2040年には約77,800人、2065年には約59,500人としている。

【将来人口推計（成行値）】：何も取組をしない場合の推計値  
 人口：2040年 約7.34万人  
 人口：2065年 約4.82万人

《人口減少対策を行うことで》

【将来人口目標】：取組を進めることで目指す目標値  
 人口：2040年 約7.78万人  
 人口：2065年 約5.95万人

## <人口推移 各年9月末時点>

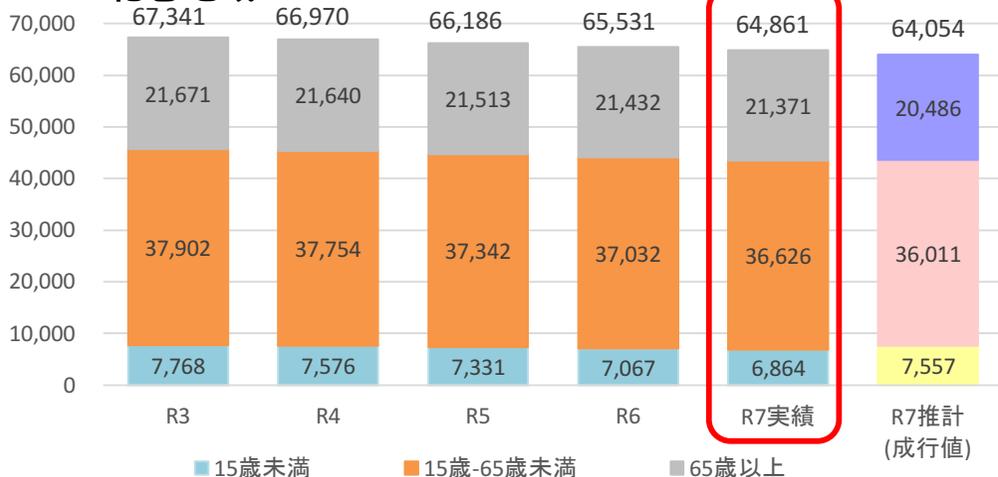


出典：【将来人口推計（成行値）、将来人口目標、将来人口推計（H30社人研推計）】花巻市人口ビジョン（R5年12月改訂）  
 【実績値、世帯数】花巻市住民基本台帳（各年9月末時点）

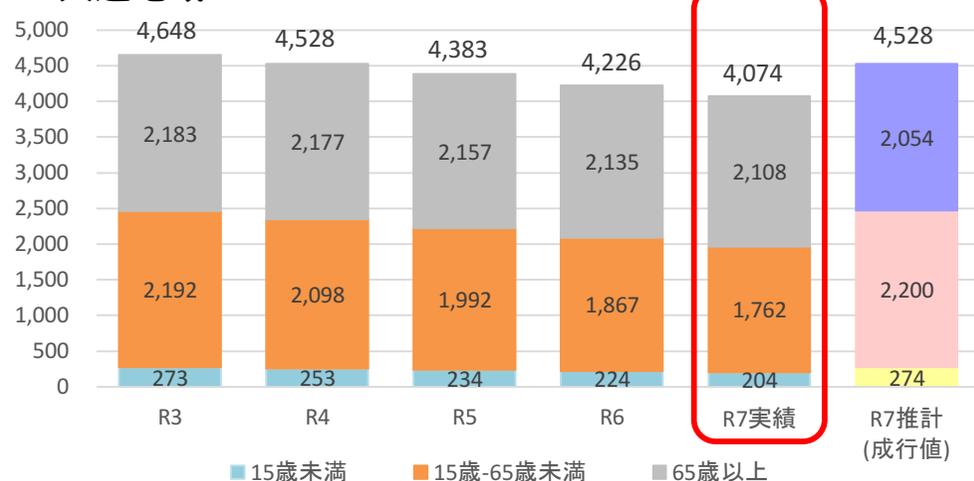
- ◆令和7年の実績値は88,906人で、前年比較で1,250人減少（減少率1.39%）となっており、将来人口推計（H30社人研推計）は上回っているものの、将来人口目標（花巻市人口ビジョン目標値）及び将来人口推計（花巻市人口ビジョン成行値）を下回っている。
- ◆全国の傾向と同様に花巻市においても世帯数の増加が続いており、単独世帯や核家族世帯が増加していると考えられる。

# 地域別の年齢3区分別人口

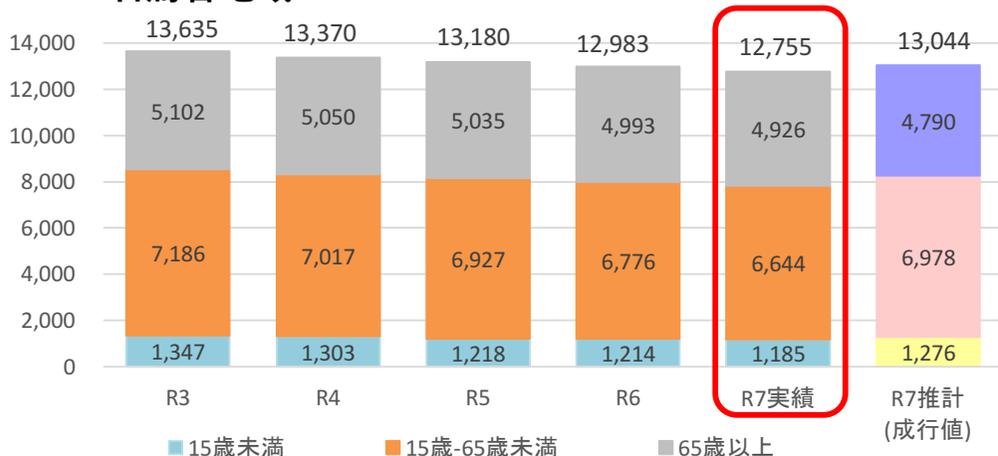
## <花巻地域>



## <大迫地域>



## <石鳥谷地域>



## <東和地域>



出典：【実績】住民記録 年齢別人口集計表（各年10月1日時点）

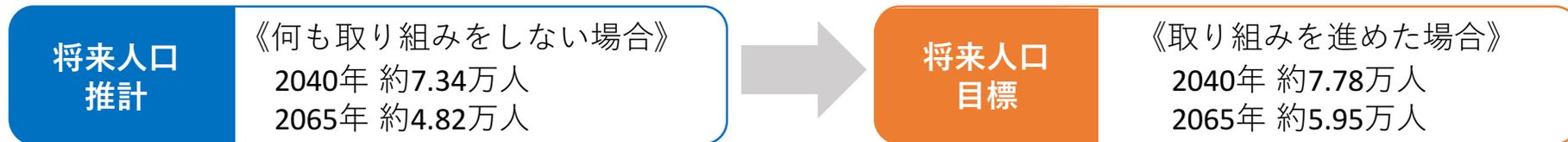
【R7推計(成行値)】花巻市人口ビジョン（R5.12改訂）地区別人口推計結果 ※将来人口推計(成行値)を地区別に推計したもの

◆令和7年の各年齢区分の人口（R7実績）は、4地域すべてにおいて前年（R6）と比べて減少している。また、花巻市人口ビジョン（R5年12月改訂）における令和7年地区別の人口推計（R7推計(成行値)）と比べると、花巻地域においては上回っているが、大迫・石鳥谷・東和の3地域においては下回っている。

◆大迫・東和地域は過疎地域に指定されており、その取り組みについては、第2期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略のほか、「花巻市過疎地域持続的発展計画」にも掲げて、併せて実施している。

# 将来人口目標達成のための取り組みと実績

【本市の人口推計結果と将来人口目標の設定（花巻市人口ビジョン（令和5年12月改訂））】



取組  
①

**合計特殊出生率を上げる**  
2030年に1.8、2040年に2.07（人口置換水準）を目指す

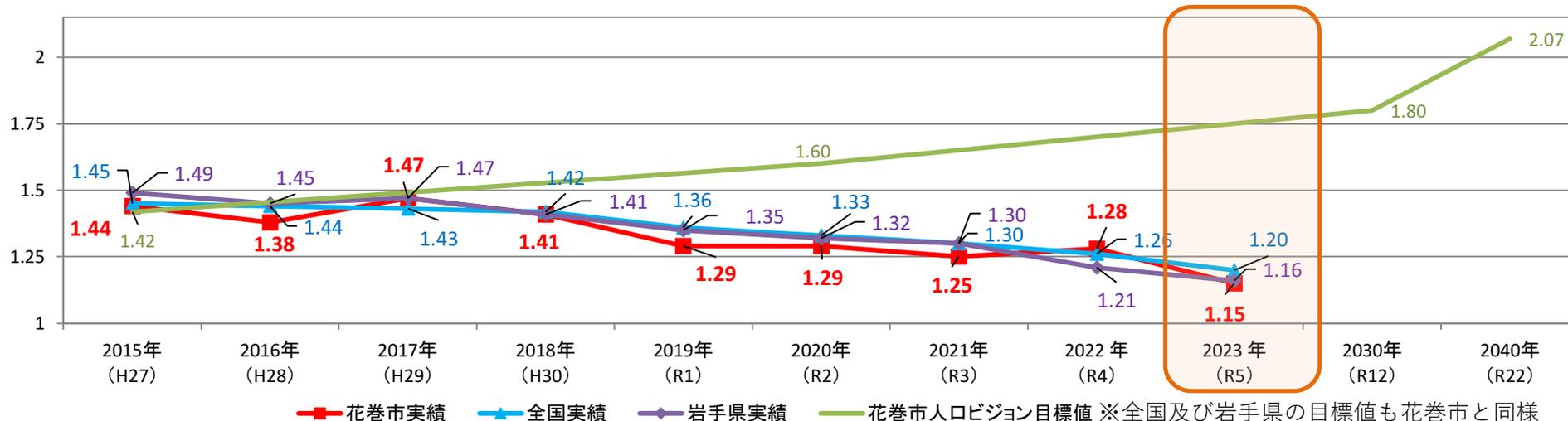
取組  
②

**移動率を改善させる（ターゲット層）～流出超過の抑制、UIターンを促進**  
 ・20代までの若者の流出超過の抑制（2034年までの間に流出が次第に低減）  
 ・30代の若者のUIターンを促進（2029年までUターン者が増加）

## ①合計特殊出生率を上げる

花巻市人口ビジョンにおいて、花巻市の合計特殊出生率目標は国が定める「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」と同数の2030年に1.8、2040年に2.07（人口置換水準）を目指すとしている

### <合計特殊出生率>



出典：岩手県人口動態統計 ※花巻市の数値は県保健福祉部健康国保課にて算出

◆合計特殊出生率は令和元年に前年から0.12ポイント減の1.29に低下し、その後令和4年までほぼ横ばいで推移していたが、令和5年において、前年から0.13ポイント減の1.15に低下した。

◆全国的にも減少傾向にあり、その要因としては未婚率の増加や有配偶出生率の低下などが考えられる。

◆国立社会保障・人口問題研究所の「第16回出生動向基本調査」（令和3(2021)年6月調査、令和5年8月公表）において、次のような傾向が明らかになっている。

未婚者の生涯の結婚意思や平均希望子ども数は男女とも前回調査（平成27(2015年)）から減少。

夫婦の最終的な出生子ども数は晩婚化を背景に減少。

夫婦が理想の数の子どもを持たない理由として子育てや教育への経済的負担と回答している割合が最も多い。

※花巻市まちづくり市民アンケートにおいても、2人目以降を考えたいが子育てへの経済的負担が大きいとの声があることから、上記の全国的な傾向は、花巻市においても同様にあるものと考えられる。

### <未婚率と有配偶出生率の推移>

|     | H22         |       |                                | H27         |       |                                | R2          |       |                                |
|-----|-------------|-------|--------------------------------|-------------|-------|--------------------------------|-------------|-------|--------------------------------|
|     | 未婚率（25～39歳） |       | 有配偶出生率<br>（15～49歳）<br>（対1000人） | 未婚率（25～39歳） |       | 有配偶出生率<br>（15～49歳）<br>（対1000人） | 未婚率（25～39歳） |       | 有配偶出生率<br>（15～49歳）<br>（対1000人） |
|     | 男性          | 女性    |                                | 男性          | 女性    |                                | 男性          | 女性    |                                |
| 全国  | 49.8%       | 37.7% | 79.4                           | 50.1%       | 38.5% | 78.5                           | 50.7%       | 39.5% | 70.3                           |
| 岩手県 | 47.9%       | 34.1% | 76.6                           | 49.1%       | 35.3% | 77.9                           | 51.7%       | 37.5% | 67.3                           |

出典：内閣府地方創生推進事務局「地域少子化・働き方指数」※国勢調査、厚労省「人口動態統計」から作成

### <夫妻の平均初婚年齢の推移>

|           | 夫    |      | 妻    |      |
|-----------|------|------|------|------|
|           | 全 国  | 岩手県  | 全 国  | 岩手県  |
| H2(1990)  | 28.4 | 28.2 | 25.9 | 25.7 |
| H12(2000) | 28.8 | 28.5 | 27.0 | 26.5 |
| H22(2010) | 30.5 | 30.1 | 28.8 | 28.2 |
| R2(2020)  | 31.0 | 30.5 | 29.4 | 29.1 |
| R6(2024)  | 31.1 | 30.9 | 29.8 | 29.4 |

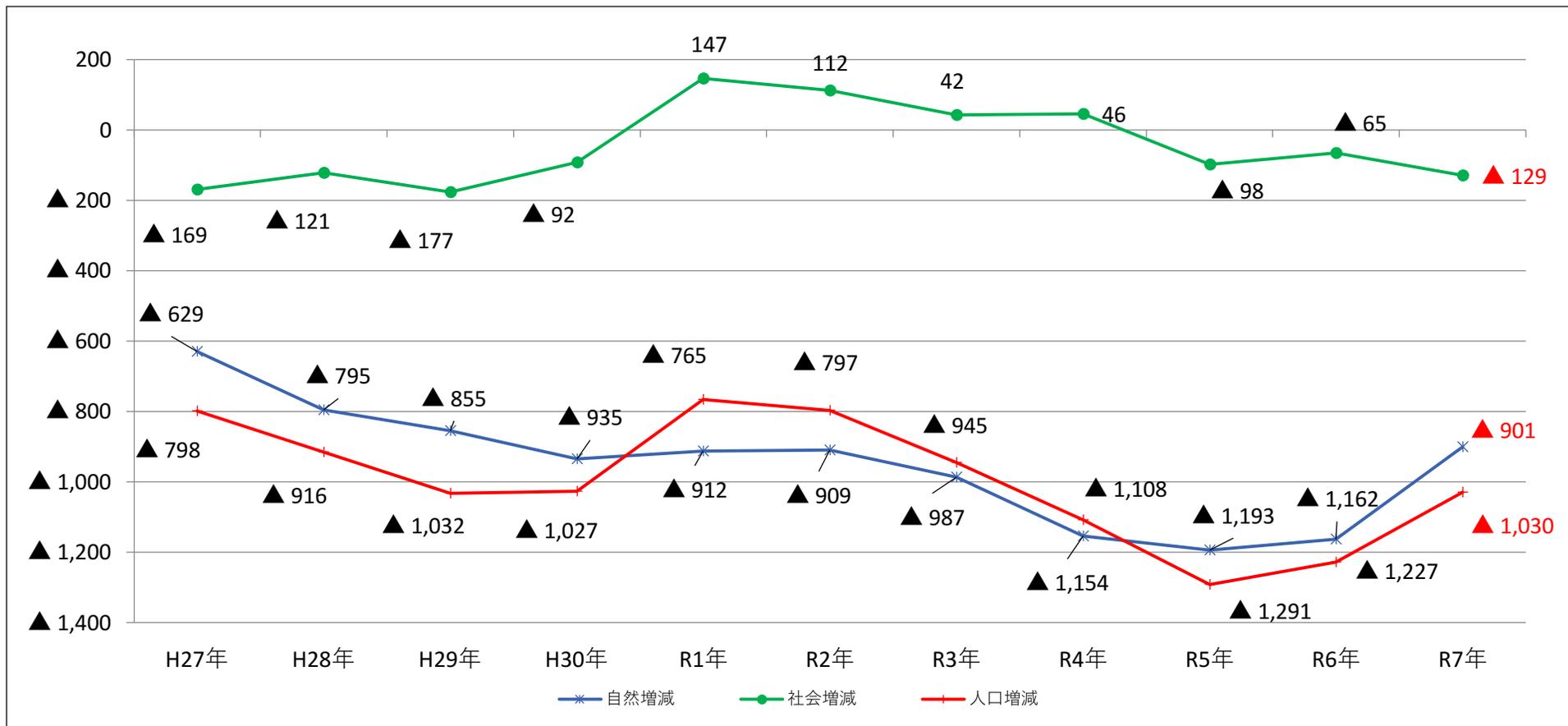
出典：厚生労働省「人口動態統計」

# 将来人口目標達成のための取り組みと実績

## ② 移動率を改善させる～流出超過の抑制、UIターンを促進

- ・ 20代までの若者の流出超過の抑制
- ・ 30代の若者のUIターンを促進

### <人口動態 各年1月～12月を集計>

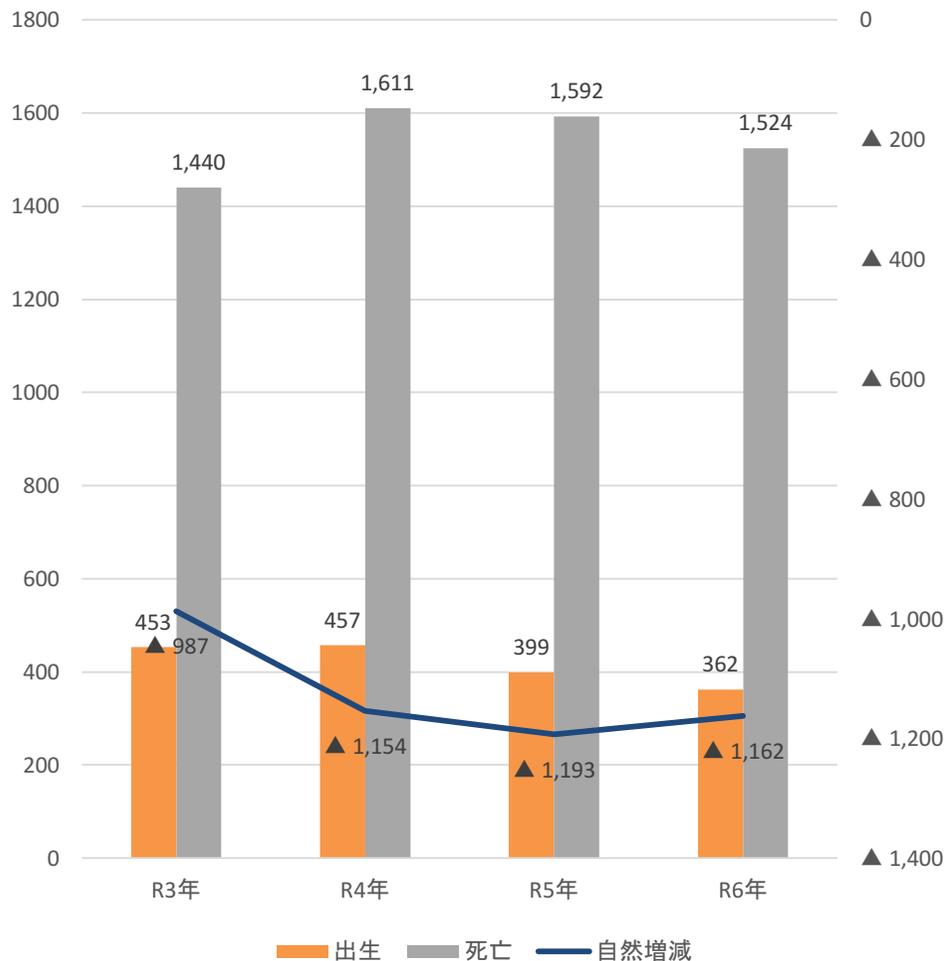


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態および世帯数調査」（各翌年1月1日現在）

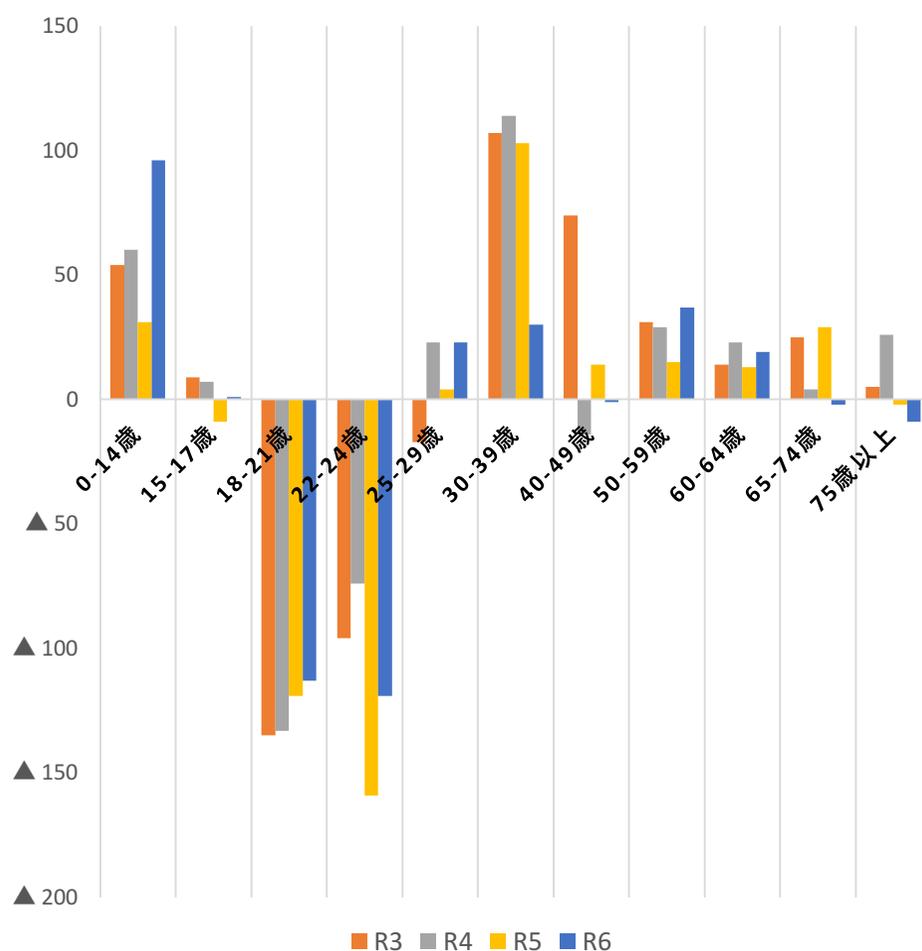
※令和7年は花巻市住民基本台帳に基づく集計による速報値（令和7年1月から10月を集計）

※外国からの転出入（国籍不問）を含む

< 出生数・死亡者数推移（各年1月～12月集計） >

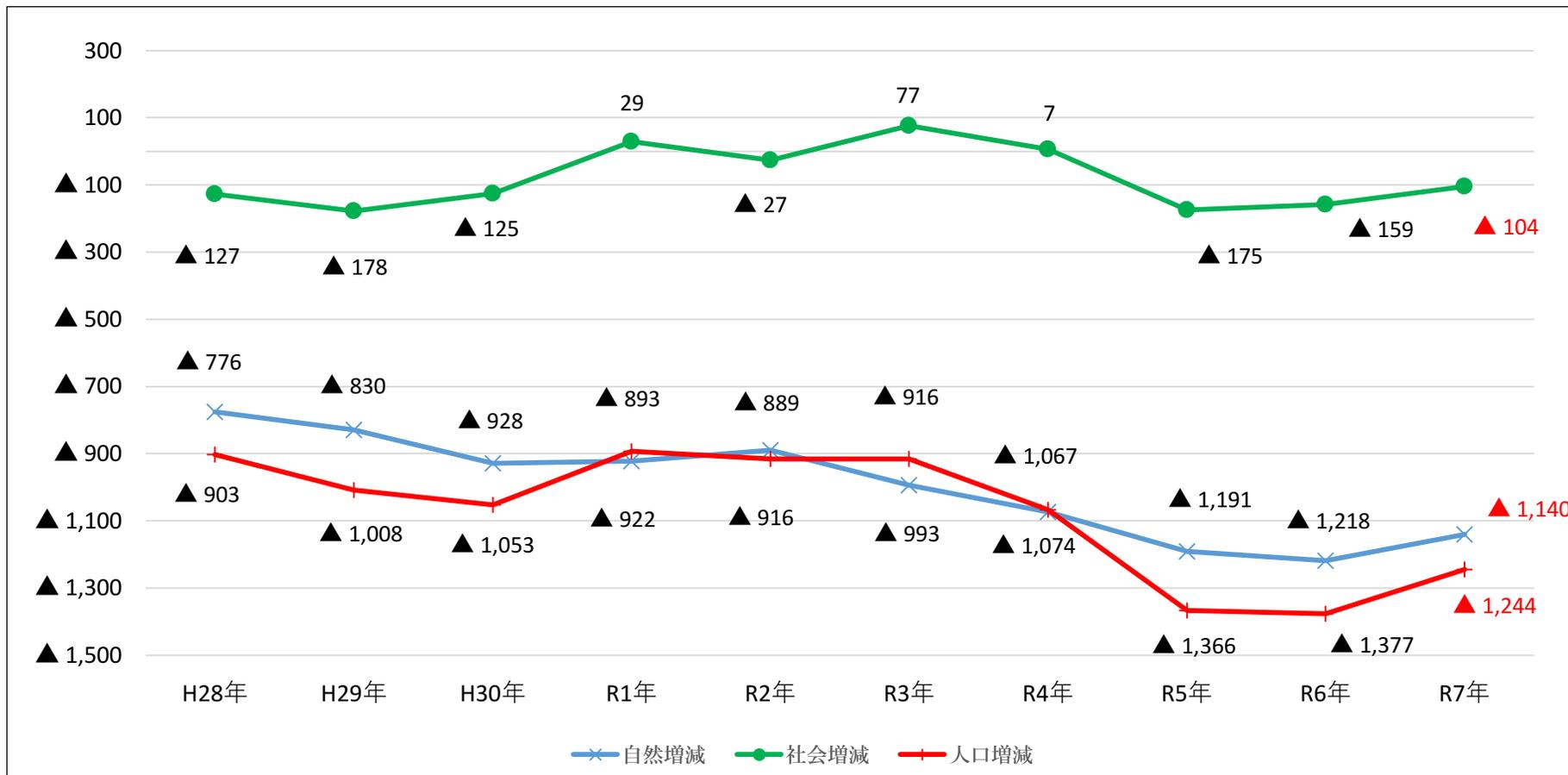


< 年代別社会増減数（各年1月～12月集計） >



- ◆人口減少の最も大きな要因は、死亡数が出生数を上回る自然減が大きいことである。
- ◆社会増減の推移において、令和元年から令和4年までは転入超過であったが令和5年から転出超過となっている。岩手県内の移動においては転入超過が続いているが、県外の移動においては、宮城県や東京都・神奈川県・埼玉県への転出が増えている。
- ◆年代別社会増減数を見ると、0歳から14歳及び30歳から39歳の年代は、全ての年で転入超過となっており、本市が取り組んでいる子育て支援や移住定住支援などが一定の効果を上げていると考えられる。一方で、18歳から24歳については全ての年で大きく転出超過となっており、進学や卒業後の就職で宮城県や東京都・神奈川県・埼玉県への県外転出が多いことが要因と考えられる。

(参考) 人口動態 各年10月～9月を集計  
 (第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標2の数値目標として使用)



出典：岩手県人口移動報告年報（前年10月から9月末）

※令和7年は花巻市住民基本台帳に基づく集計による速報値（令和6年10月から令和7年9月末を集計）

※外国籍の人数を含まず